

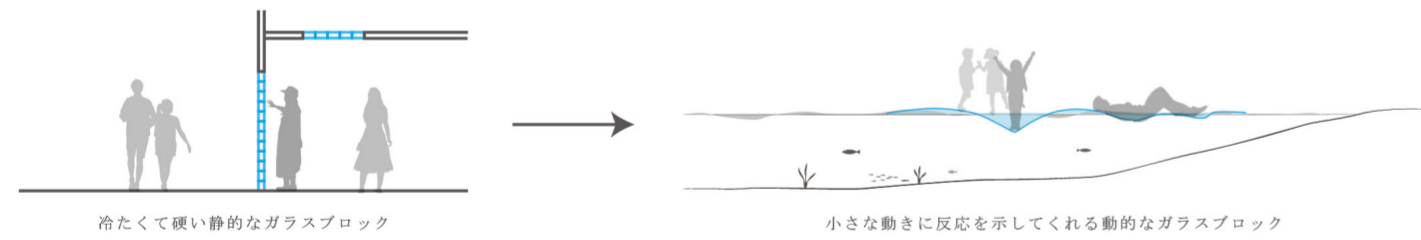
みなも う まほう じゅうたん
水面に浮かぶ魔法の絨毯

小さなガラスブロックの集合体をそっと水面に浮かべてみる。
水面に浮かべた一枚の布のようなこの建築は、風になびいてぶかぶかと水面をただよび、キラキラと太陽の光を反射し、訪れる人々と仲良く戯れる。遮断するのではなく受け止めるように、拒絶するのではなく寄り添うように、そんなガラスブロックと人や環境との新たな関係性を考えた。人々の所作やちょっとした環境の変化に呼応する柔軟なものとして、みんなに愛される「かわいいガラスブロック」の建築を提案する。



01. ガラスブロックにおける「かわいい」とは

かわいいという感情は人とガラスブロックが対話をするかのような関係を結べたときに生まれるものではないだろうか。冷たくて硬い壁や床としてのイメージが強いガラスブロックだが、人や自然と戯れる方法を模索することで人々に愛される「かわいいガラスブロック」の姿が見えてくる。



02. プロダクトデザイン

エッジを無くすようにアールを付けた通常よりも小さなガラスブロックと、透明で伸縮性のある目地シール材を用いることで、水面に浮かんだ一枚の布のような建築を構想する。柔らかな形状変化を可能にしたガラスブロックは人の動きや環境の小さな変化に反応を示してくれる。



03. 様々な動きに反応を示してくれる、かわいいガラスブロック

水面にぶかぶかと浮かぶこの建築は、つぶつぶとした思わず触れたいくなるような感触をもっている。風になびかれて小さく波打ち、沈んでも浮かび上がってくる小さなガラスブロックの集合体は、まるで生きているかのようになんとも愛らしい姿を私たちにを見せてくれる。人の動きや環境の小さな変化に反応を見せてくれるこの建築は、多くの人々と仲良く戯れ可愛がられる。

